

令和 5 年度
決 算 報 告 書

第 1 2 期事業年度

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日



地方独立行政法人
大阪府立

環境農林水産総合研究所
Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

令和5年度決算報告書

(単位: 百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,870	1,826	△ 44	(注1)
自己収入	199	255	56	
財産売却収入	7	6	△ 1	(注2)
農業大学校収入	8	6	△ 2	(注3)
依頼試験手数料収入	1	1	0	
受託研究等収入	164	208	44	(注4)
その他収入	19	35	16	(注5)
目的積立金取崩	—	28	28	(注6)
合 計	2,069	2,109	41	
支出				
業務費	417	491	74	
研究経費	253	286	33	(注7)
受託研究等経費	164	205	41	(注8)
一般管理費	229	233	3	(注9)
人件費	1,423	1,363	△ 60	(注10)
合 計	2,069	2,086	17	

- (注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しているため、合計金額と一致しないことがあります。
また、損益計算書において計上されている現金収入を伴わない収益及び現金支出を伴わない費用は決算報告書では含まれないため、損益計算書の計上額と決算額の集計区分に相違があります。
- (注1) 退職手当の支給額及び支給人数等が確定したことに伴い、特定運営費交付金収入が予算額に比して決算額が44百万円減少しました。
- (注2) 生産物等売却収入が見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が1百万円減少しました。
- (注3) 農業大学校において授業料を減免したことなどにより、予算額に比して決算額が2百万円減少しました。
- (注4) 受託研究等の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が44百万円増加しました。
- (注5) 受託研究等収入のうち補助金等として収入したものを、その他収入に計上したことにより、予算額に比して決算額が16百万円増加しました。
- (注6) 研究力・技術力の向上等調査研究体制の強化のための、目的積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が28百万円増加しました。
- (注7) 目的積立金を財源とした経費や、補助金等収入を財源とした経費を研究経費に計上したことに伴い、予算額に比して決算額が33百万円増加しました。
- (注8) 受託研究等の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が41百万円増加しました。
- (注9) 老朽化した施設等の整備に早期に対応したため、予算額に比して決算額が3百万円増加しました。
- (注10) 退職手当の支給額等が確定したことや人件費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が60百万円減少しました。